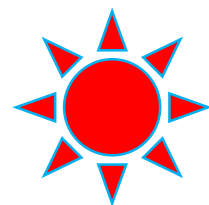


ありがとうございます



二戸市ふるさと納税の活用内容

令和 7 年度 皆さまからお寄せいただいた寄附金は、次のとおり令和 8 年度事業として活用させていただきます。

子どもの教育のために ・・ 2,584 名様より 46,872,500 円

1. 学力向上推進事業

児童生徒の確かな学力の定着と、子ども達の成長を支える教職員の授業力向上の取り組みのために使われます

2. 図書に親しむまち推進事業

絵本を通して親子がふれあう機会の創出、幼少期からの読書の習慣化を目指した乳幼児への絵本の贈呈と小中学生への図書の贈呈など、読書の推進活動に使われます

①ハピママ・ファーストブック（親を対象とした読み聞かせと絵本の贈呈）

②ブックスタート（8 か月健診時の読み聞かせと絵本の贈呈）

③ママといっしょ（1 歳 6 か月健診時の読み聞かせ）

④おはなしデビュー（3 歳児健診時の絵本の贈呈）

⑤図書の贈呈事業（児童生徒全員に希望図書の贈呈）

⑥学校図書館支援員の巡回訪問（学校図書館の環境整備等の支援）

3. 楓蔭舎きぼう塾事業

青少年が大きな志を持って自己実現と社会貢献を目指し成長できるよう、小学生や中学生とその親を対象に行う体験学習や郷土学習などに使われます

4. ふるさと探訪塾事業

市内の小学校 5・6 年生を対象に、郷土への理解を深め、愛着心や誇りを育むとともに、次代の地域を担う人材育成のために使われます

5. 異文化交流推進事業

中高生の海外派遣を通じ、国際感覚豊かな人材の育成を図るために使われます

6. 高校魅力化推進事業

地域の学びの選択肢や多様な分野の学びを維持するため、学校の魅力発信や生徒の通学費補助など、市内高等学校の生徒確保に対する支援に使われます

子どもと家族を支援するために

・・・2,197 名様より 40,034,000 円

1. 不妊治療の助成

子どもを持ちたいと願う方が、家庭や子育てに夢を持ち、喜びを実感できるよう、不妊治療の助成に使われます

2. 子育て応援

未来を担う子どもたちが健やかに成長できるよう、子どもとその家族の支援に使われます

3. 健康づくり

子どもから高齢者まで幅広い世代を対象に「健康なからだ」を育む事業に使われます

4. 高齢者などへの支援

高齢者や障がいを持つ方など誰もが住み慣れたまちで生きがいをもち安心して暮らせるための事業に使われます

浄法寺漆を未来へつなぐために

・・・1,007 名様より 26,006,000 円

二戸市は国産漆生産の約 8 割を占める日本一の産地であり、浄法寺漆の多くは鹿苑寺金閣（京都）や日光東照宮（栃木）などの国宝・重要文化財建造物の保存修理など、日本の伝統文化を守るために使用されています。しかし、漆従事者の高齢化など社会情勢の変化により、生産を取り巻く環境は非常に厳しく、生産体制の強化は待ったなしの状況です。現代において、改めて価値が認識される日本の漆。先人から受け継いできた漆文化を次世代に確実につなげるために、次の事業などに使われます。

1. 漆掻き・塗師等の後継者育成

漆掻き・漆塗りなど、漆関連産業の後継者育成のために使われます

2. ウルシ原木確保対策

荒廃した漆林の整備、将来に向けた漆林の創生など原木資源を確保するために使われます

3. 浄法寺漆・浄法寺漆器の情報発信

浄法寺漆総合ホームページの改修等、漆や漆器に関する情報発信のために使われます

九戸城跡整備・振興のために

・・・1,012 名様より 21,443,000 円

国指定史跡九戸城跡は、九戸氏居城の九戸城から南部氏居城の福岡城へと造り変えられた城です。市街地にありながら、長い間、市民に親しまれ大切に守られてきたおかげで、東北最古級の石垣をはじめ、土塁や城の構造が良好に保存されています。令和2年度から開始された第2期整備によって、本丸・二ノ丸が憩い学べる歴史公園となりました。また、令和6年度の発掘調査では石沢館で石垣が新たに発見され、城としての価値が高まっています。

今後、続日本100名城の発信や御城印を活用しながら、史跡九戸城跡の魅力を表現する歴史公園としての環境づくりを進めるために、皆様からのふるさと納税を下記の事業に活用していきます。

1. 歴史を体感し、学べる歴史公園とするために、整備を行います
2. 城内の維持管理を行い、四季折々の魅力あふれる景観を保全します
3. 九戸城と福岡城の特徴を明らかにするために、発掘調査を継続して実施します
4. パンフレットの作成や講演会、企画展などの情報発信を行います

まちづくりのために …… 4,583 名様より 86,820,990 円

1. 若者を支援する事業

若い世代の移住・定住の推進や結婚支援、雇用対策に使われます

2. 地域のにぎわいをつくる事業

市内事業者への支援や観光地づくり、情報発信などの事業に使われます

3. 公共交通運営事業

コミュニティバスやデマンド交通の運行や路線バス事業者の支援に使われます

市長におまかせ

寄附金は『まちづくりのために』と同様の事業に活用されます

温かいご支援、誠にありがとうございました

